

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立山王中学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み取りについては概ね理解をしている。 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使用できる語句もあるが、普段使用しない語句に関しては、正答率が低い。 話の展開に注意して聞き、必要に応じた質問の仕方を理解している。 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を書くこと。 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと。 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な比例式を解くことができる。 回転移動した図形をかくことができる。 グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に理解している。 与えられた情報を分類し、事象の起こりやすさを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数$y=ax+b$における比例定数の意味や、aとbの値とグラフの特徴を関連づけること。 事柄が成り立つ理由や数学的な表現を用いて説明すること。 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 「観察・実験を計画すること」「検討して改善すること」「知識・技能を活用すること」については全国と概ね同様の傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 習得した知識・技能を活用して、観察・実験の結果を分析して解釈すること。 自然の事象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御して実験を計画すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識、自己肯定感の高い生徒が多い。 地域社会でのボランティアに参加している生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習に関する意識が低い。 家庭で学習する習慣が身に付いていない。 新聞や読書に、ほとんど時間を費やしていない。 放課後や週末に、テレビ、インターネット等に時間を費やしている生徒が多い。 ボランティアに参加している生徒は多いが、地域や社会での出来事に関心のある生徒が少ない。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

- 【国語】
- 漢字の定着を図っていく。
 - 身に付けた知識を適切に使用できるように、指導時に具体的な場面などを提示し、活用できるようにする。
 - 内容を整理して書くことができるように、単元または教材の振り返り等の中で、書く活動を増やしていく。
- 【数学】
- 見通しと振り返りを意図的・意識的に行い、学習過程では自力解決の場面や学び合う機会を設定して、主体的・対話的な授業作りを目指していく。
- 【理科】
- 観察・実験から得られた情報と習得した知識・技能を活用して考察を検討できるように取り組んでいく。
 - 実験の目的に応じた条件を指摘し、条件制御の知識・技能を活用できるような場面を計画的に設定していく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

- 家庭学習は「学校で学んだことを定着させる」という重要な役割があり、確かな学力の向上には欠かせないものです。学校と家庭がさらに連携をとりながら、生徒たちの家庭学習の定着に向けた取り組みを進めていきましょう。
- 携帯電話・スマートフォンの使い方やマナーについては、生徒会が中心となって取り組みを進めています。正しい使い方を理解していないと学習習慣や睡眠時間に影響することになるので、ぜひ家庭内でルールを決め、下校後の時間の使い方等についてお話をしてみてください。
- 学校は家庭・地域と連携をとりながら、生徒たちが自ら学ぶことのできる環境をつくっていきたいと思います。ご家庭においても、生徒が自ら学ぶことのできる環境をつくっていただけるよう、ご協力をお願いします。